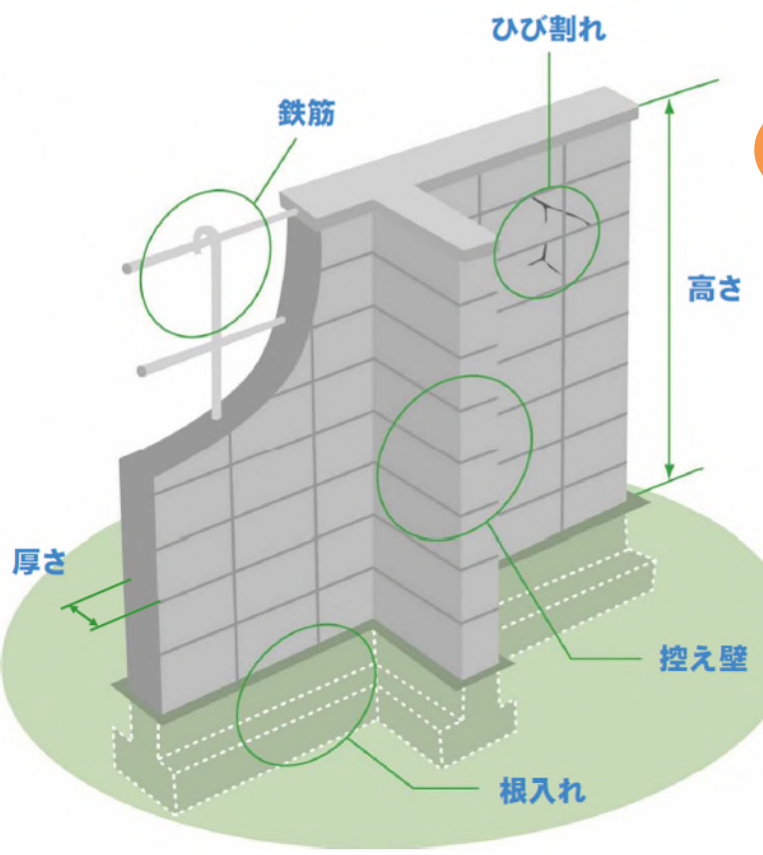


ブロック塀の安全確認をしましょう！

6月18日、大阪府北部を震源とする地震によりブロック塀が倒壊し、尊い命が失われる痛ましい事故が発生しました。自宅の敷地などにブロック塀や組積造の塀がある場合は、安全点検を行うよう心掛けてください。

※組積造：れんが造、石造、鉄筋のないブロック造



出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013.1より一部改

ブロック塀の点検のポイント！

ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。まず1～6をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、下記の相談先にご連絡ください。

- 1. 塀は高すぎないか
 - ・塀の高さは地盤から2.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か
 - ・塀の厚さは10cm以上か。(塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上)
- 3. 控え壁はあるか(塀の高さが1.2m超の場合)
 - ・塀の長さは3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか
 - ・コンクリートの基礎があるか。
- 5. 塀は安全か
 - ・塀に傾き、ひび割れはないか。
- 6. 塀に鉄筋が入っているか
 - ・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
 - ・基礎の根入れ深さは30cm以上か。(塀の高さが1.2m超の場合)

組積造の塀でも、次のことに気を付けましょう！

- 1. 塀の高さは地盤から1.2m以下か
- 2. 塀の厚さは十分か
- 3. 塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さ1.5倍以上突出した控え壁があるか
- 4. 基礎があるか
- 5. 塀に傾き、ひび割れはないか
- 6. 基礎の根入れ深さは20cm以上か

●ブロック塀に関する相談先

公益社団法人 千葉県建築士事務所協会	043-224-1640
一般社団法人 千葉県建築士会	043-202-2100
公益社団法人 全国建築コンクリート ブロック工業会	03-3851-1077

事業に関するお問い合わせや相談は・・・
浦安市 都市整備部 都市計画課、都市政策課、市街地開発課
猫実 1-1-1 TEL047-712-6542 (都市計画課)
Email: toshikei@city.urayasu.lg.jp

堀江・猫実
元町中央地区

まちなみ

燃え広がらず、壊れにくい、逃げやすいまち

防災まちづくり通信 第6号
発行/浦安市 都市整備部
平成31年1月

防災まちづくりルールの勉強会を実施しています！

浦安市では、大規模な地震時等に被害が心配される堀江・猫実元町中央地区の一部(35ha)を対象に、防災まちづくりに取り組んでいます。今年度は、防災まちづくり方針に基づき、地区計画の策定に向けて地区のみなさんと全5回の「防災まちづくりルールの勉強会」を実施しています。



今後の勉強会は、下記の日程で開催予定です。これまでご参加いただけていない方でもご理解いただける内容となっておりますので、ぜひともご参加ください。

本号では、これまでに取り組んだ勉強会の内容と参加者の意見などをご紹介します。

日程	今後の勉強会のテーマ
1月19日(土)	第4回『建物の用途、ブロック塀の制限など』
2月16日(土)	第5回『地区の目標と方針』(予定)

※いずれも時間は10:00~12:30、会場は中央公民館

第2回勉強会 ～地区防災施設と建物の不燃化～

日時：平成30年10月28日(日) 10:00~12:30
会場：中央公民館 大集会室

火災による延焼拡大が心配される地区内で、建物の不燃化対策によってどのような効果があるかを検証した「延焼シミュレーション」を参考に、つぎの2点について意見交換を行いました。

- ①この地区にふさわしい「地区防災施設の配置※」
- ②この地区にふさわしい「建物の不燃化のパターン」



地区の延焼シミュレーションの説明
※地区の防災機能を確保するために基本となる道路や広場のこと

第3回勉強会 ～敷地規模、建物の位置、建物の高さ～

日時：平成30年12月1日(土) 10:00~12:30
会場：中央公民館 大集会室

住みよい住環境の維持・向上に向けて、地区にふさわしい建物ルールを検討するため、建替えのケーススタディを参考に、つぎの3点について意見交換を行いました。

- ①将来の街並みイメージ(道路幅員と建物のボリューム)
- ②道路の円滑な通行を確保するための短期的な対策
- ③将来の街並みイメージの実現に向けて必要なルール



意見交換の様子

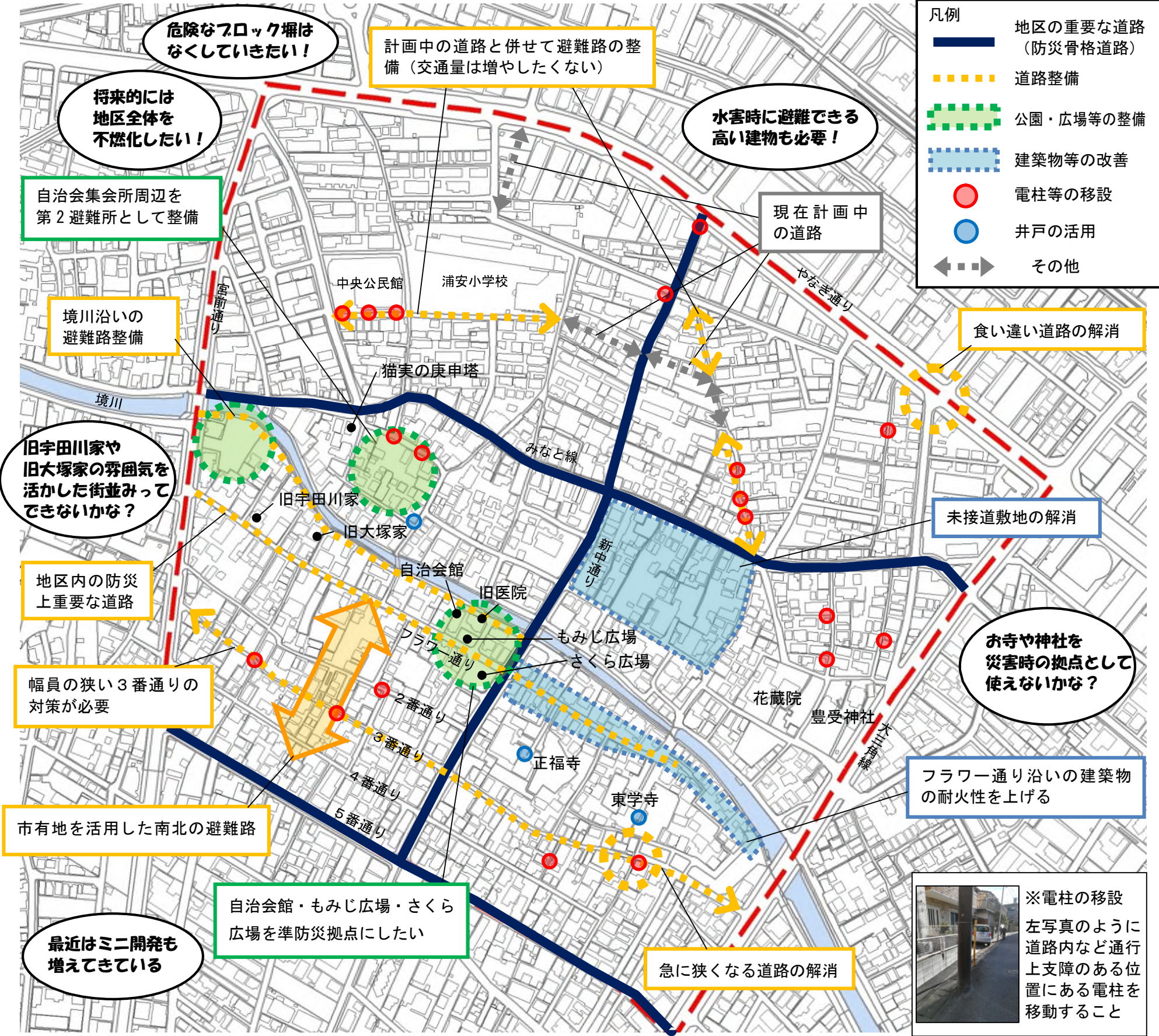
一緒に考えよう！

勉強会の“参加者”の声を紹介します！

防災まちづくりルールの勉強会は、毎回テーマを決めて意見交換を行っています。これまでの勉強会で意見交換された主な意見をご紹介します。



勉強会で配布した資料や「まちなみ」は市ホームページで公開しています
 堀江・猫実元町中央地区防災まちづくり
 (市ホームページサイト内検索より、「堀江・猫実元町中央地区防災まちづくり」で検索)



不燃化に関する主なご意見

不燃化って燃えにくい建物をまちに増やしていくことみたいだけど、具体的にはどこを不燃化すると良いのかな？

災害時に安全に避難するために、主要な道路によって延焼から守られるように、**短期的には防災骨格道路 (新中通り、みなと線、5番通り) 沿道の建物を不燃化したい**という意見が出ていたわ！

でも、**将来的には「地区全体」を不燃化**できるといいよね？

そうね！ただし、「地区全体」で不燃化のルールを決める際には、お寺や神社や銭湯、旧宇田川家・旧大塚家のような**文化財等は対象から外す**べきという意見が出ていたわ

- その他の「意見」
- ・建物を不燃化するための補助がほしい
 - ・北風によって火災が境川を越えて、延焼被害を拡大させる可能性がある。フラワー通りの建物の耐火性を高めたり、建物の高さを設けるなどした方がよい
 - ・お寺を延焼から守るため、周辺の建物の耐火性を上げる
 - ・堀江3丁目は安全に避難できる南北道路がないため、市有地を活用した南北の避難路を整備してほしい
 - ・避難路沿道のブロック塀の対策が必要

将来の街並みのイメージに関する主なご意見

地区計画って建替えのルールを決められるんでしょ？このまちは将来どんな街並みになっていくんだろう？

フラワー通りなどはすでに高い建物が建っているけど、**地区全体としては今の戸建ての街並みを残していきたい**という意見が出ていたわ

道路を通行しやすくするために、短期的にできることについても話し合ったんだよね？

見通しや通行に支障のある電柱の移設や、道路等に置かれたものの撤去といった意見が出ていたわ

- その他の「意見」
- ・旧宇田川家、旧大塚家のイメージの街並みづくりはできないか
 - ・まちに残る井戸を活用したい (井戸マップの作成)
 - ・地区内の未接道敷地を解消できないか
 - ・水害時に高い建物を避難場所として使えるようにしたい